

本書の特色

この本は、前学年までの学習内容を中心に構成された新中学3年生のためのテキストです。

各課とも、最初の2ページのポイントと例題で重要な内容をおさえ、次の2ページの演習問題で実力を定着させる…という流れになっています。また、文法・語句も読解問題と並行して学習できます。一課に一枚の別冊確認テストがついています。各課の理解度チェックに役立ててください。

講習準備テストを使用することで、講習を受ける前の実力をチェックすることができます。最後には、総合確認テストで学習の成果を確認しましょう。

本書の使い方

● **ポイント・例題**……その課で学習する内容と基本的な問題を取りあげています。

● **演習問題**……ポイント・例題で学習した内容をもう一度確かめるための演習問題です。「思考力問題」には◎をつけています。

● **語句問題**……読解問題が一課終わったら、語句問題も一課取り組むようにしましょう。

● **総合問題**……文法・語句の総合問題になっています。

もくじ

国語中3

1	説明的文章(1)	2
2	説明的文章(2)	6
3	小説文	10
4	随筆文	14
5	情報	18
6	古典	22
《語句問題》		
1	漢字の構成	26
2	熟語の構成	26
3	自立語	27
4	付属語	27
5	同音異字・同訓異字	28
6	三・四字熟語、故事成語	28
	総合問題	29
	*漢字パズル	31

ポイント

●グラフの種類

情報を示す方法として、グラフがよく用いられる。グラフには、次のような種類がある。

- ・棒グラフ：数量、割合などを比較するとき有効。横型のものも縦型のものもある。数値の年次変化なども表せる。
- ・折れ線グラフ：数量などの変化の推移を表すときに有効。個別の項目を比較するというよりは、変化を示すのによく使われる。
- ・円グラフ：全体の中の割合を比べるときに有効。複数回答のアンケートなどには使えない。
- ・帯グラフ：円グラフと同じように、割合を比べるときに有効。全体を帯状の長方形で表し、その区切られた面積によって全体の割合を示す。

●グラフ・資料の注目する点

- ・その資料によって何を示そうとしているのかを、正確に捉えることが重要。単なる数字が示すこととどのような意味があるのかを読み取る。
- ・資料の表し方についても注目する。表に表された数字だけだとわかりにくかったものが、グラフで示されると、比較しやすかったり、変化がわかりやすかったりする。

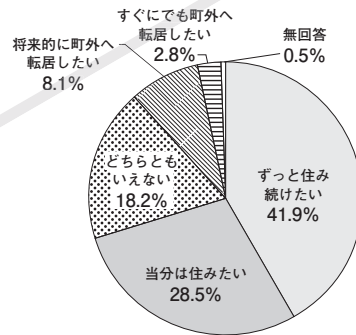
●複数の資料の比較

複数のグラフを比較するときには、共通する数値や項目、傾向に注目したり、相違点に注目したりするとよい。グラフ資料とそれに関する意見文のような場合は、その意見文がグラフ資料のどの点に言及しているのかを丁寧に追っていく。

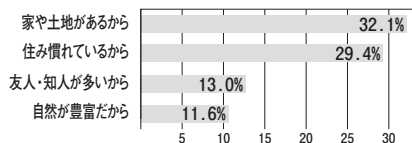
例題

1 ある町の住民に対して行った、住みやすい町にするためのアンケートの結果を見て、あとの問いに答えなさい。

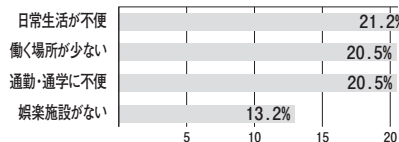
これからこの町に住み続けたいですか



住み続けたい理由 (上位のみ)



住み続けたくない理由 (上位のみ)



□(1) 下の棒グラフにある「住み続けたくない理由」に答えるべき人は、円グラフ全体の約何割にあたりますか。

□(2) 町の在り方を改善するとすれば、「住み続けたい理由」、「住み続けたくない理由」、主にどちらを参考にして改善しますか。

□(3) 住みやすい町にするために、他にはどんなアンケート項目が必要ですか。最も適切なものを次から選び、記号で答えなさい。
 ア あなたの住みたい地域名 イ 町に愛着を感じているかどうか
 ウ 優先して取り組むべきこと エ この町で自慢できること

2 新聞記事をもとに行われたグループでの話し合いを読んで、あとの問いに答えなさい。

【新聞記事】

エスカレーターを考える
 エスカレーターに乗るときどうしているだろうか。左右のどちらかに寄って乗っているのをよく見るが、急いでいる人がその空いている側を歩いて上っていることもある。
 でも、ここで少し考えてみてほしい。どちらかに寄って乗ることができない人がいたら、どちらかにしか、体を寄せられない人がいたら。
 エレベーターに乗ればよい。そう答えるかもしれない。でも、それでいいのだろうか。

【話し合い】

田中 どちらかに寄って乗ることができない人、どちらかにしか、体を寄せられない人というのは、障がいのある方のことだよ。
 小林 障がいのある方ももちろん、平等に利用できないといけないと思う。
 永井 でも、現実には、急いでいる人もいるよね。その人はどうすればいいの。
 田中 急いでいる人がぶつかってきたり、転んだりしている事故も起きているみたいだよ。

□(1) エスカレーターに乗るとき、どのようにすることが多いとっていますか。新聞記事から書き抜きなさい。

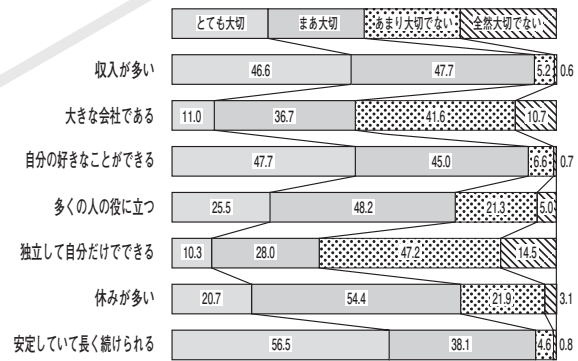
□(2) 田中さんは急いでいる人の行動について、どんな問題があるといっていますか。次の文の a・b にあてはまる言葉を書き抜きなさい。
 急いでいる人が、エスカレーターを上りながら a きたり、 b する事故が起きている。

□(3) エスカレーターの利用方法で、提言できるとすれば、どんなことですか。最も適切なものを次から選び、記号で答えなさい。

- ア 安全を優先に考え、エスカレーターを歩いて上ることを禁止する。
- イ 障がいのある方のために、エレベーターの場所を示す。
- ウ 急いでいる人専用のエスカレーターを設置する。
- エ エスカレーターを全てやめ、エレベーターにする。

3 仕事を選択するとき何を重視するかを、16歳から29歳の人に聞いたアンケートの結果を見て、あとの問いに答えなさい。

仕事を選ぶ理由として、どれくらい大切ですか。



内閣府「子供・若者の現状と意識に関する調査」

「アンケートに関するある人の意見」
 収入に関することが重要なのは、当然といえる。「大きな会社である」ことは、必ずしも重要ではなく、「自分の好きなことができる」ことを重視していることがわかる。
 「多くの人の役に立つ」ことも目指す条件であるし、収入以上に重視されているのが、安定である。また、「安定して長く続けられる」ことと、「大きな会社である」の結果が矛盾して見えなくもない。「大きな会社」≠「安定」ではないらしい。

□(1) アンケート結果を表しているのは、帯グラフですが、この場合、円グラフより適切だと思われるのは、どのような理由ですか。簡潔に書きなさい。

□(2) 「とても大切」と「まあ大切」を合わせると、最も割合が大きいのは、どの項目ですか。グラフから書き抜きなさい。

□(3) 「ある人の意見」では、何が矛盾しているといっているのですか。次の文の a・b にあてはまる言葉を書きなさい。

a を求める人が多いはずなのに、 b にはこだわらないから。

- a
- b

演習問題

ある市内の中高生に「魅力的な大人のイメージ」というテーマでアンケートをとった結果を見て、あとの問いに答えなさい。

【アンケート結果】

マナーがしっかりしている……	57%
好きなことに打ち込んでいる……	51%
家族を大切にしている……	44%
仕事に打ち込んでいる……	43%
ユーモアがある……	39%
知的である……	37%
自分に自信をもっている……	32%

(複数回答・上位のみ)

□(1) この資料をグラフにして示す場合、どのグラフが適切ですか。次から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 円グラフ
- イ 棒グラフ
- ウ 帯グラフ
- エ 折れ線グラフ

□(2) 「家族を大切にしている」「仕事に打ち込んでいる」の二項目に共通しているのは、どんな大人としての姿勢ですか。最も適切なものを次から選び、記号で答えなさい。

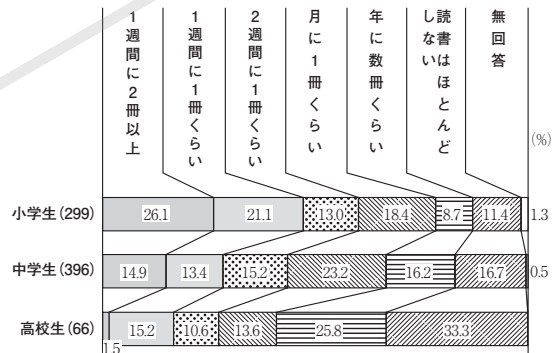
- ア 自分の判断を信じる姿勢。
- イ 社会での地位を維持する姿勢。
- ウ 責任感をもっている姿勢。
- エ 人に知識を与えられる姿勢。

□(3) 比較的低い割合にとどまっているある項目について、ある中学生は次のように考えました。□□に共通してあてはまる言葉を書き抜きなさい。自分に□□をもちすぎると、自分の意見を押し付ける□□家と受け取られて、よいイメージにならなかったのではないか。

□□ □□

ある県の年代別の読書量を調べた資料を見て、中学生たちが話し合いをしています。あとの問いに答えなさい。

【ある県の年代別読書量】



【中学生の話し合い】

森下 このグラフを見ると、小学生、中学生、高校生の順に本をたくさん読む人が多いようだね。

高井 逆に「読書はほとんどしない」は、少ない順で小学生、中学生、高校生の順だね。

中山 中学生、高校生になると忙しくなって時間がないってことかな。

森下 それもあるかもしれない。確かに小学生の頃のほうが読んでいた気がする。

□(1) 読書をほとんどしないと答えた人の割合が最も多いのは、どの年代ですか。

□□

□(2) 中学生の話し合いの中で中山さんは、どんな推測をしていますか。次の文の□a・□bにあてはまる言葉を考えて書きなさい。

小学生、中学生、高校生の順に□aが減る理由として、小学生に比べて、中学生、高校生のほうが□b本を読む時間がないのではないかと、ということ。

□a □b

□(3) 中学生の話し合いの中で自分の経験をもとに意見を言っている人は、誰ですか。

□□さん

